

5 成果概略図

(1) 令和元年度

山口県教育委員会【山口県立田布施農工高等学校】 令和元年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）

農工維新！田布施あいプロジェクト～地域とともに未来を切り拓くシエネラリストの育成～

事業目的 コミュニティ・スクールの仕組みを発展させ、地域課題の解決を図る探求的な学びを通じて、地域を担う人材を育成する。

3つの“あい”で地域課題の解決を目指す取組

STAGE1 「AI(愛)」 地域を愛し、地域に貢献する
地域課題解決のアイデアを募集する
*地域と連携した商品開発や休耕田活用などの実践的な取組を実施

STAGE2 「I(自分)」 自分ごととして考える
地域課題解決のアイデアを考える
*地域の課題解決についての研究計画を立て、アイデア発表会等を実施
*専門学習の中で地域課題の解決に向けて、知識・技術を強化

STAGE3 「Eye(見る)」 地域を見て知る
地域について知り、地域課題を発見する
*たぶせあいレポート(地域の課題や魅力を集約した研究)の実施・情報発信

農工連携

3年 総合的な探求の時間、農業と環境等

2年 地域課題の発見・解決学習を通じて、自己の課題を発見し、研究計画を立てる取組

1年 幅広い知識・技術
・GAP、HACCP 基礎学習
・知財基礎学習
・RESAS学習
・他学科の愛置

創造力
・酒づくり
・キャリアデザイン

協働する力
・ボランティア活動
・発明クラブ

【産業基礎】
(総合的な探究の時間(2単位))

生物生産科

食品科学科

機械制御科

都市緑地科

【ローテーションで、全学科の実習】
専門外の内容を実践的に学ぶことで、新たな見方や幅広い視野を身に付け、専門学習に活かす。

成果

① 農林水産業の担い手の確保と育成
② 地域情報の発信力の強化
③ 地域コミュニケーションづくり

令和元年度の成果と課題

① 農林水産業の担い手の確保と育成
地域の農業系より72名が、県研PAIによる生産者研修を受講。農業研修場で発表、農業の魅力を発信し、県内外の生産者や関係機関との交流を図る。

生徒の意識変容(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「学校魅力アンケート」より)

項目	R1.6月	R2.2月
地域農業の担い手の確保のため幅広い分野で地域情報発信を行う	89.3	81.3
地域の農業系より72名が、県研PAIによる生産者研修を受講し、農業の魅力を発信する	94.3	88.0
農林水産業の担い手の確保と育成	96.0	88.0
地域情報の発信力の強化	92.0	84.0
地域コミュニケーションづくり	94.0	81.0

② 地域情報の発信力の強化
【農林水産業の担い手の確保と育成】
県研PAIによる生産者研修を受講し、農業の魅力を発信し、県内外の生産者や関係機関との交流を図る。

③ 地域コミュニケーションづくり
【地域コミュニケーションづくり】
県研PAIによる生産者研修を受講し、農業の魅力を発信し、県内外の生産者や関係機関との交流を図る。

課題

専門学習の中で地域課題の解決に向けて、知識・技術に基づいた創造力を強化
地域課題解決のアイデアを自分事として考え、自らの人生に学んだことを活かしていく姿勢の醸成
事業の進捗や成果に関する一層の情報発信

山口県教育委員会【山口県立田布施農工高等学校】 令和2年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）

農工維新！ 岡布施あいプロジェクト～地域とともに未来を切り拓くエネラリストの育成～

事業目的 コミュニティ・スクールの仕組みを発展させ、地域課題の解決を図る探究的な学びを通じて、地域を担う人材を育成する。

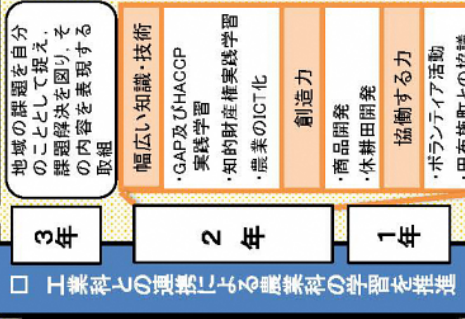
3つの“あい”で地域課題の解決を目指す取組

STAGE1 「AI(愛)」地域を愛し、地域に貢献する
 地域課題解決のアイデアを実践する
 ☆地域と連携した商品開発や休耕田活用などの実践的な取組を実施

STAGE2 「I(自分)」自分ごととして考える
 地域課題解決のアイデアを考える
 ☆地域の課題解決についての研究計画を立て、アイデア発表会等を実施
 ☆専門学習の中で地域課題の解決に向けて、知識・技術を強化

STAGE3 「Eye(見る)」地域を見て知る
 地域について知り、地域課題を発見する
 ☆たぶせあいレポート(地域の課題や魅力を発掘した研究)の実施、情報発信

3年 2年 1年



評価・検証



《育成する地域人材像》

- ① 地域産業の担い手として幅広い知識・技術を有する人材
- ② Society5.0に柔軟に対応できる創造力を有する人材
- ③ 世代を超えて他者と協働して課題を解決できる人材

《本事業で取り組む地域課題》

- ① 農林水産業の担い手の確保と育成
 - ② 地域情報の発信力の強化
 - ③ 地域コミュニティづくり
- 山口県PR 本部長も応援

地域の未来を支える

令和2年度の成果と課題

成果

- ① 農林水産業の担い手の確保と育成
 農業大学校iVED(産・学・官)連携、地域情報発信、SNSで情報発信、主要産品、田布施町との協働、子ども達の発表に参加
- ② 地域情報の発信力の強化
 SNSで情報発信、主要産品、田布施町との協働、子ども達の発表に参加
- ③ 地域コミュニティづくり
 田布施町との協働、子ども達の発表に参加

生徒の意識変容(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「学校魅力アンケート」より)

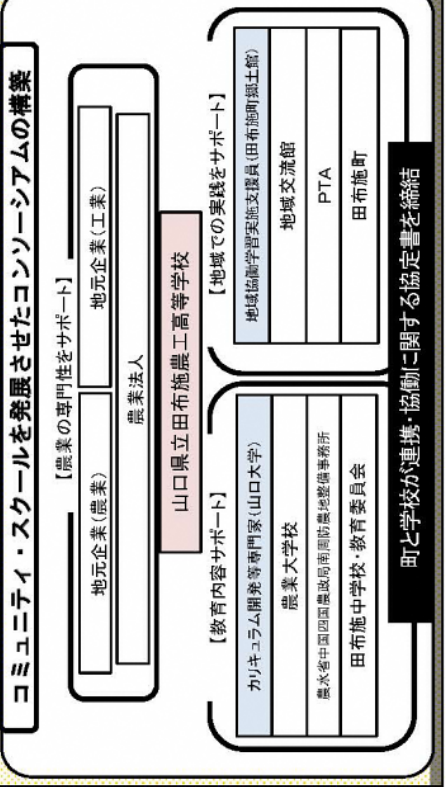
地域を愛するようになるための幅広い知識、技術が身に付いたか

90.0%	96.0%
85.0%	91.0%
80.0%	86.0%
75.0%	81.0%
70.0%	76.0%

11.0月、12.0月、13.0月、14.0月、15.0月、16.0月、17.0月、18.0月、19.0月、20.0月

課題

R2年8月現在では新型コロナウイルス感染症の影響が見られたが、その後の活動により教育活動の充実が図られた。



山口県教育委員会【山口県立田布施農工高等学校】 令和3年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）
農工維新！岡布施あいプロジェクト～地域とともに未来を切り拓くジェネラリストの育成～

事業目的 コミュニティ・スクールの仕組みを発展させ、地域課題の解決を図る探究的な学びを通じて、地域を担う人材を育成する。

3つの“あい”で地域課題の解決を目指す取組

STAGE3 「AI(愛)」地域を愛し、地域に貢献する
 地域課題解決のアイデアを実践する
 ☆4学科が連携して、地域の能力向上の取組やイベント等の企画・立案・運営
 ☆コンソーシアムの協力・協力を得ながら、教科及び学科等の種別的な視点から具体的な取組

STAGE2 「I(自分)」自公ごととして考える
 地域課題解決のアイデアを考える
 ☆専門学習の中で地域課題の解決に向けて、知識・技術を強化

STAGE1 「E(見る)」地域を見て知る
 地域について知り、地域課題を発見する
 ☆たぶせあいレポート(地域の課題や 魅力を集約した研究)の実施、情報発信

工業科との連携による農業科の学習を推進

3年
 工業科との連携による農業科の学習を推進

2年
 工業科との連携による農業科の学習を推進

1年
 工業科との連携による農業科の学習を推進

課題研究他、各学科専門科目
 地域の課題を自分ごととして捉え、課題解決を図り、その内容を表現する取組
 幅広い知識・技術
 ・GAP及びHACCP実践学習
 ・知的財産権実践学習
 ・農業のICT化
 創造力
 ・商品開発
 ・農・工業共同研究
 協働する力
 ・ボランティア活動
 ・田布施町との協働

評価・検証
 ○ 専門評価 …… 運営指導員等
 ○ 授業評価 …… 研究授業、研究協議会等を実施
 ○ 学習評価 …… 少人数制やポートフォリオ等の活用

《育成する地域人材像》

- ① 地域産業の担い手として幅広い知識・技術を有する人材
- ② Society5.0時代に柔軟に対応できる創造力を有する人材
- ③ 世代を超えて他者と協働して課題を解決できる人材

《本事業で取り組む地域課題》

- ① 農林水産業の担い手の確保と育成
- ② 地域情報の発信力の強化
- ③ 地域コミュニティづくり

山口県PR
 本県産品を応援

令和3年度の成果と課題

成果

- ① 農林水産業の担い手の確保と育成
 山口県PR
 本県産品を応援
- ② 地域情報の発信力の強化
 田布施町会議
 田布施町会議
 田布施町会議
- ③ 地域コミュニティづくり
 山口県PR
 本県産品を応援

課題

- ★ 研究事業への評価・検証を生かし、継続的に改善を図っていく組織体制
- ★ 個々の生徒の活動における適切な評価方法の確立
- ★ 地域課題解決学習と学校教育活動のバランス
- ★ 地域との連携・協働を継続するための校内体制の整備

コミュニティ・スクールを発展させたコンソーシアムの構築

【農業の専門性をサポート】

- 地元企業(農業)
- 農業法人
- 山口県立田布施農工高等学校

【地域での実践をサポート】

- 地域協働学習実践支援員(田布施町農士館)
- 地域交流館
- PTA
- 田布施町

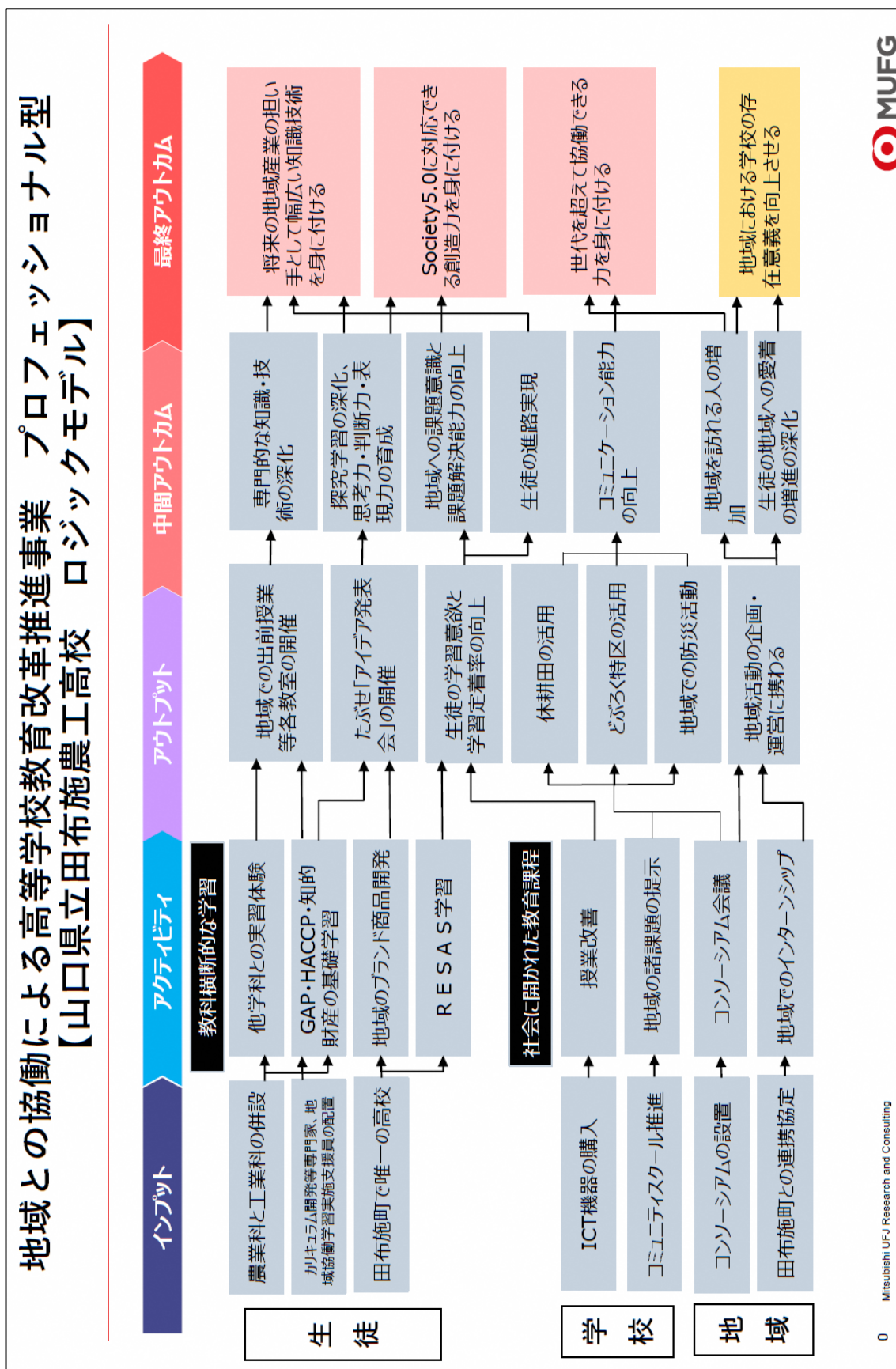
【教育内容サポート】

- カリキュラム開発等専門家(山口大学)
- 農業大学校
- 農水省中国四国農政局南防備地整備事務所
- 田布施中学校・教育委員会

町と学校が連携・協働に関する協定書を締結

6 校内資料

(1) ロジックモデル



(2) あい³通信

あい³ プロジェクト～!

～ 生徒あい³実行委員会 紹介 ～

道の組織!? 令和3年度 生徒実行委員会始動!!

みなさん! 田布産業エライフを楽しんでいますか? 農工は、産学だけでなく地域に飛び出して実学を学ぶチャンスがたくさんあります。そんなみなさんの活動をサポートし、外部に情報発信するのが、私たち生徒実行委員会です!

みなさんが卒業式の時「この高校にこれ良かった」と思えるよう、全力でサポートしていきます! 田布産を舞台に、一緒に楽しんでいきましょう!

～実行委員会紹介～ 各クラス代表に、決意表明を聞きました。

R3. 7.7 (水)
田布産業高等学校
あい³プロジェクト
生徒あい³実行委員会

Q: 創造力について

自分の考えを持っていて、メモまでできる人が多いのだ

項目	1年	2年	3年
1 考えたりメモに残していない	15%	10%	5%
2 普段から自分の考えをメモ、メモまでできる	65%	60%	55%
3 2に加え、その考えや実践方法を説明できる	15%	20%	25%
4 3に加え、自分の考えをもとに作ることもできる	5%	5%	15%

Q: 実践力について

地域のためにもっと行動できるようにするには、どうしたら・・・?

項目	1年	2年	3年
1 口頭や文章での、内容を理解できていない	10%	5%	5%
2 内容を理解し、行動(製作等)できる	70%	65%	60%
3 2に加え、地域の事情に合わせて、行動(製作等)できる	15%	20%	25%
4 3に加え、外部関係やナニビスを生かせる	5%	5%	10%

事前アンケート結果報告

6月に実施した事前アンケート、ご協力ありがとうございました。アンケートを集計したので結果を紹介します。

Q: 田布産町の歴史や文化を知っていますか?

A: 1～3年生全体で、知っているひとがまだまだ少ないことが判明!

項目	1年	2年	3年
1年 ほとんど知らない	60%	45%	30%
1年 ほとんど知っている	5%	10%	15%
2年 ほとんど知らない	20%	40%	35%
2年 ほとんど知っている	10%	15%	20%
3年 ほとんど知らない	15%	30%	45%
3年 ほとんど知っている	5%	10%	15%

田布産町には古墳や、今年は園木田歩の生誕150年など、気になるニュースがたくさんあるぞよ!!

Q: コミュニケーション力があるか?

項目	1年	2年	3年
自信がない	40%	35%	30%
あんまり	30%	25%	20%
なりたい	15%	20%	25%
自信がある	15%	20%	25%

Q: 地域の人と協力して活動したいですか?

項目	割合
思わない・あまり思わない	59%
思いたい	30%
地域の人と協力して活動したい!	41%

「コミュニケーション力」「自信がある」

「なんと!!半分近くの人が諦めている笑顔が活き活きに。」

「どうしたらコミュニケーション力に自信が持てるかな?」

「次のページもあります」

各科目別学年別の取組!

全員4にできるようにしたいね!

生物生産科

Q: 栽培や動植物への関心と取組は?

食品科学科

Q: 田布産町の特産品開発と外部発信は?

都市緑地科

Q: 栽培や動植物への関心と取組は?

機械制御科

Q: 栽培や動植物への関心と取組は?

今回の結果はどうでしたか? 今後、各科の取組を紹介していきます!

あい³の取組をもっと広がっていきます!

動画班

アンケート班